

## 授乳中の薬について

授乳期において、お母さんが体調を崩すなどして、薬を飲まなければならぬことがあります。授乳を止めるべきなのかどうなのか、悩むこともあるかと思います。多くのお母さんは、薬を処方する医師に自分が授乳中であることを伝えて、薬を飲みながら授乳を続けられる薬を処方してもらっているかと思っています。

そんな中、やはり不安で「この薬は飲みながら授乳しても大丈夫ですか?」とお問い合わせをいただくことがあります。先にお話しておきますが、ほとんどの薬は、授乳中もまず問題なくのむことができます。なぜなら、母乳に薬が移行しても、その量はものすごく少ないためです。薬によっては、母乳にどれくらい薬が移行して、それをのんだ赤ちゃんに影響があったかどうかのデータの集積がされていますので、それを参考に問題ないですよ、とお答えします。また、データが集積されていない薬でも、他の似た薬のデータから予測して考えることができます。



そのような安全と考えられる薬と、授乳中の使用には適さないと考えられる薬の一覧が国立成育医療研究センターのサイトに情報提供されています。興味のある方はごらんください。(左記 QR コード)

当然ではありますが、必要でない薬は避けたほうがいいですし、通常は用いられないサプリメント(食経験が少なく、どんな材料がどういう影響があるのか不明なため)やアルコール、カフェインの多いもの、タバコも摂るのをひかえた方がよいと考えます。

母乳のメリットが叫ばれる中、母乳が出ないお母さんもいると思いますし、いろいろな状況で人工乳を使用する場合もあると思います。元気に育てて欲しいと願う気持ちは同じです。上手に使用しながら育てていきましょう。

話しは変わりますが、一昔前は、何歳何ヶ月くらいで卒乳と言われていましたが、現在は、いつまでにしなければならぬということはなく、それぞれで、離乳食なども食べて身体も成長し気分良さそうであれば 2、3歳でも吸わせてよいようです。赤ちゃんの状態とお母さんの考えが尊重されます。こども家庭庁「授乳と離乳について」も参考にしてみてください。

### 授乳中の薬の使用について



国立成育医療研究センター

薬のギモン・質問は、お近くの薬局 もしくは、ぎふ薬事情報センターまで ☎058-247-5122

協力/ 岐阜県薬剤師会 〒500-8146 岐阜市九重町4-5 <http://www.gifuyaku.or.jp> 岐阜県薬剤師会 検索